

子育て

3 ファミサポ講習会

一時預りや送迎など、子育てを応援する提供会員*に関心のある人が、安全・安心な子育てのサポートについて学べます。当日は提供会員の登録もできます。

※子育ての支援を必要としている依頼会員を有償で手伝う会員のこと

対 市内在住の20歳以上の人、ファミサポ活動に関心のある人

●傾聴～相手を受容し、共感的に話を聴く～

専門の先生が、子どもにとって特別な存在「子どもの第三の居場所」となるために必要なコミュニケーション方法について、お話しします。

🕒 来年1月15日(水) 10:00～12:00

所 市役所 8 階 大会議室 **定** 50人(先着順)

他 託児あり(3人(先着順)、来年1月8日(水) 17:00までに申込要)

申 12月5日(木)～来年1月8日(水) 9:00～17:00

●健康な食生活について

栄養士の先生が、子どもや大人の食生活や栄養についてお話しします。日々の生活の中で健康に過ごすためにどのような事を心掛けたいのか、食に関する悩みも聞けます。

🕒 来年1月20日(月) 10:00～12:00

所 市役所 8 階 大会議室 **定** 50人(先着順)

他 託児あり(3人(先着順)、来年1月14日(火) 17:00までに申込要)

申 12月5日(木)～来年1月14日(火) 9:00～17:00

申・問 ファミリー・サポート・センター

(さわやか保健センター 3 階、子育て相談センター内) ☎・FAX564-7895

✉ famisapo932@gmail.com

4 離乳食レストラン

食育の話や試食(大人のみ)、座談会を行います。

🕒 来年1月15日(水) 10:00～11:30 **所** さわやか保健センター

対 市内在住の4～10カ月児とその保護者 **定** 15組(先着順) **¥** 200円

申 12月10日(火) 10:00～、最新の情報を市ホームページで確認し、ネット予約システムから申し込み

※ネット環境がない場合は、お問い合わせください

申・問 子育て相談センター(さわやか保健センター 3 階)

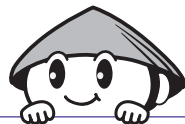
☎561-2331、FAX561-2491



子育て応援サイト
子育て情報はこちら



たび丸への年賀状をお待ちしています！



送ってくれた人全員に、たび丸からお返事します。来年1月6日(月)(消印有効)まで。送付先 〒525-8588 草津市役所 たび丸

問 広報課(3 階) ☎561-2327、FAX561-2483

草津の古代を掘る弥生人の生活

発掘調査成果の公開・普及を目的とした報告会です。今回は、昨年度から実施している宮西遺跡(山田町)で確認された調査成果を中心に、弥生時代の滋賀県下の地域交流や、同時代に一大集落を築いた守山市の事例を紹介します。

🕒 12月21日(土) 13:30～17:00(13:00～開場)

所 市役所 8 階 大会議室 **定** 100人(先着順)

問 歴史文化財課(6 階) ☎561-1503、FAX561-2488



📖 キリトリ



水生植物公園 みずの森

〒525-0001
下物町1091
☎568-2332
FAX568-0955

本陣楽座 落語会

2025年最初の落語会！新年と一緒に笑って迎えましょう！●**演者** 桂春之輔さん、笑福亭喬路さん

🕒 来年1月18日(土) 14:00～15:00 **所** 草津宿本陣楽座館(草津一) **定** 50人(先着順)

¥ 700円 **申** 12月3日(火)～、草津宿街道交流館に、電話かファクスで

申・問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031



K U S A T S U

歴史ギャラリー 県内最古の石造道標

No.205

県内最古の年号が彫られた道標(道しるべ)が市内にあることを知っていますか。
それは、立木神社(草津四)にある延宝8(1680)年の年号が彫られた道標です。この道標は東海道と中山道の分岐点にあったと思われるが、現在分岐点にある文化13(1816)年の道標が建てられた際に移された可能性があります。
高さは170cm、南面には「梵字(カンマン)延宝八庚申年十一月吉日伊勢大神宮山城愛宕山七ヶ年中履行月参詣願成就所 みぎはたうかいといせみち(東海道伊勢道)」、西面には「ひだりは中せんたうをた加みち(中山道を多賀道)京みぶ村あしだの行者万宝院」と刻まれています。
この道標を建てた人物は「あしだの行者万宝院」であり、7年の間、愛宕山(現・愛宕神社・京都市)と伊勢神宮の月参りを達成したことを記念し、建立したものです。
現代の愛宕神社は、火伏せの神様として有名です。愛宕山は修験道の祖とされる役行者によって開かれたという伝承を持ち、修験者が集まる地域でした。愛宕山の神は、神仏習合の影響で愛宕権現として信仰されていました。
愛宕権現は、勝軍地藏、不動明王、毘沙門天の三尊とされます。道標を建てた「あしだの行者万宝院」も愛宕山を中心とした修験者ではないかと考えられます。
愛宕山から伊勢神宮までは直線距離でも約120km、当時の旅人の1



▲石造道標(西面)



▲石造道標(南面)

日の移動距離が30～40kmであったことから、往復7日ほどの行程を毎月歩いていたこととなります。山を修行の場とする修験者はもう少し早く移動できた可能性もありますが、交通手段が未発達で、自動車も公共交通機関もない江戸時代に毎月、伊勢神宮に参詣するという修験者の信仰のあつさがうかがえます。
道標の最上部には、不動明王を表す「カンマン」の梵字が彫られています。梵字とは、古代インドの文字であり、仏を象徴するものです。不動明王は、愛宕大権現のうちの一尊であり、修験道で広く信仰されていることから、道標に刻まれたと考えられます。また、愛宕権現は境界の神としての性格を持つので、中山道と東海道の境界を守るために建てられたのかもしれない。

問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031